

■「脳卒中発作への緊急対応及びその後のケア」

日本ホメオパシーセンター愛知弥富

JPHMA 認定ホメオパス No.0912

ZEN メソッド修得認定 No.0304

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No.0152

加藤 育代(かとう いくよ)

【クライアント】

女性 65歳

【目的及び主訴】 喫茶店で談笑していた最中、こめかみを押さえて、突然床に倒れた。
(完全に意識喪失、白目をむき、呼吸停止、時折大きないびき呼吸があるのみ)

【まず行ったこと】 お店の方にすぐ救急車を呼んでいただくようお願いした。
救急車到着までの間、レメディーを唇と歯茎の間に二回リピート、
グラスの水にも溶かし、頭、首、腕や足に振りかけた。

AAA ; いびき呼吸と突然の意識喪失の様子から脳卒中を疑い、出血に Arn. 心臓に Acon.

選択理由 ; 兄弟にくも膜下出血の既往症あり、クライアントは**高血圧**、加えて以前
サポート心臓をとられていた (Arn/ウサギギク、Acon/ヨウシュトリカブト)

【タイムライン】

閉経時、ふらつき感を感じ病院へ行き、高血圧との診断。(血圧が170ほどあり降圧剤を1年程飲んだ。) 3年程前仕事の関係で健康診断書が必要となり、受診したら血圧が高いので治療必要とのことだが、クライアントの意志で服薬は希望されず、ホメオパシーを選択。

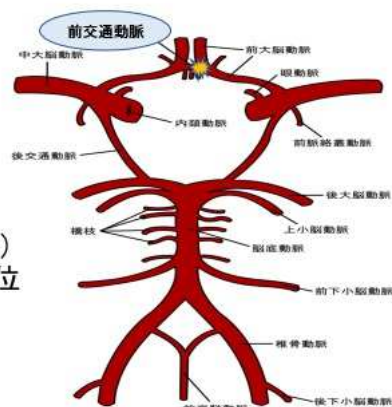
【体質・外見・性格】

- ・シャキッとしたおしゃれで素敵な方。とても4人も子育てした方とは思えない。
- ・愛にあふれた雰囲気を持つ、孫の話は尽きない。(人からは、怒ったことの無い人と思われて言われる。)
- ・子供のころはおとなしい子とよく言われたが、自分ではそうではないと思っていた。
タイムラインを見ても真の強い方。

【救急隊員と病院による処置及び診断】

AEDによる電気ショック、
脳内ステント手術。医師によると、
発症してからの意識の状態が予後に関
連するとのことで、意識が回復しな
いことから、家族にはかなり厳し
い診断を告げられた。

くも膜下出血
(破裂前交通脳動脈瘤)
記憶・言語に関する部位



Wikipedia "大脳動脈瘤"より <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E8%B4%8F%E5%B8%B6%E4%B8%A4%E8%BC%AAW>

またこの破裂した部位は、記憶や言語に関係する部位で、記憶障害や人格変化、嗅覚脱失、視床下部障害が、後遺症としてあげられる。

【その後の経過】

2日間意識不明 QX-SCIO 使用 → 翌朝、意識回復

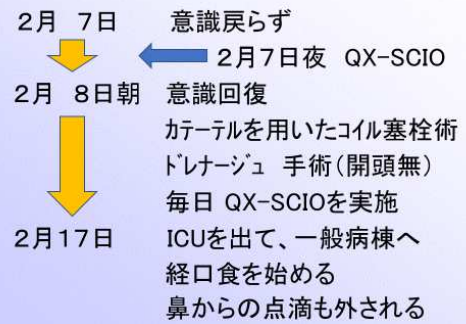
その後1週間毎日 QX-SCIO を遠隔にて

(損傷修復とバイタル安定目的に、バイオフィードバックをフル活用し、脳、神経、心臓、循環、血管、身体的トラウマなど)

10日後 点滴とれICUから一般病棟へ

QX-SCIO を1日おきに

2016年2月6日 夕方 救急車にて搬送



【1回目 2016/2/23】

- ・お見舞いに行くと自分でイチゴを食べていた。ゼリーも自分でスプーンを持ち食べる。
- ・発作時の記憶はないが、記憶や言語に特に問題なく会話も普通に行える。
- ・肺血栓有、呼吸が苦しく、肺サポート、心臓サポートをとる。

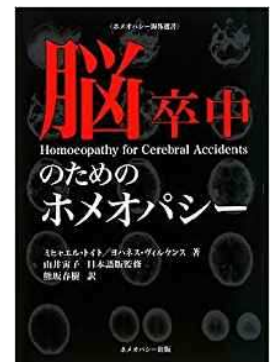
砂糖粒① Lach. 6C + Crot-h. 6C + Vip. 6C + Naja 6C

砂糖粒② S-AAA ※入院中、どの程度許されるか不明の為、砂糖粒で。水が併用

※Lach./ブッシュマスター、Crot-h./ガラガラヘビ、Vip./クサリヘビ、Naja/コブラ

*選択の根拠 ①『脳卒中のためのホメオパシー』(ホメオパシー出版)を参考に、4種の蛇毒のコンビネーション、血栓防止にも効果的。

② Arn. -出血、Acon. -心臓



【2回目 2016/2/27】

3週間後 QX-SCIO を1日おきから2、3日に一度に。

- ・入院中だが何を摂っても構わないとのことより、改めて処方。あられも食べる程の普通食。
- ・首、腰に痛み、手足に痺れ、歩行時及び座っていても身体が傾く。
- ・不眠。

随時① MT)Gink-b +Calc-p.LM5 +Nat-m.9X + Kali-p.9X + Kali-br.9X + Moly.12C

随時② サポートφ心臓 +Rhus-t.LM7 +Arn.6X +Acon.6C + Lach.200C + Ham.200C

朝・晩③ アルポ Syph.LM6 +Lach.6C +Crot-h.6C +Vip.6C +Naja 6C

※Gink-b/銀杏の葉、Calc-p./リン酸カルシウム、Nat-m./塩化ナトリウム、Kali-p./リン酸カリウム、Kali-br./臭化カリウム、Moly./モリブデン、Rhus-t./アメリカツタウルシ、Arn./ウサギギク、Acon./ヨウシュトリカブト、Lach./ブッシュマスター、Ham./アメリカマンサク、Syph./ノゾース、Crot-h./ガラガラヘビ、Vip./クサリヘビ、Naja./コブラ

【TBR】：上記の症状に対し TBR (The Bonninghausen repertory の略) を使って検索

***選択の根拠**

- ① 915 卒中(脳溢血、脳梗塞、意識喪失)ー多血性の(脳卒中・脳内出血[脳血管障害、脳血管発作])
- ② 1080 変質した感覚ーちくちく感ー単一部分にまるで痺れて無感覚になったような(痺れのぴりぴり感)
- ③ 811 記憶力ー劣った(低下した、失った)
- ④ 836 睡眠ー不眠ー不眠全般
- ⑤ 549 声ー嗄声
- ⑥ 1025 動きー困難なー歩行時によるめく(足取り)(運動失調)
- ⑦ 224 首ー背側(うなじ)
- ⑧ 252 背中ー腰仙骨部(腰のくびれた部分)
- ⑨ 1057 圧するような痛み(および疼痛)

順位・レメディイ名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	度数合計
1. Rhus.	2	3	3	3	2	4	4	4	3	28
2. Sep.	1	3	2	4	2	2	3	4	4	25
3. Calc.	2	3	2	4	3	2	4	3	2	25
4. Acon.	3	2	2	3	2	3	3	3	4	25

- ① MT)Gink-b ; 脳機能回復のサポートとして。

Calc-p. ; TBR3 位の Calc. は神経に必須、この方は Phos が合う。病後回復に Calc-p. + Nat-m.

Nat-m. ; 上記の他、投薬の関係からナトリウムのレメディイは必須。

甲状腺、粘膜の乾燥、心臓に

Kali-p. ; カリウム製剤服薬のため。神経と脳にも適合

Kali-br. ; カリウム製剤服薬のため。神経と脳に。手のしびれに。

Moly. ; 活力 u p に。筋肉の強張り、特に首に。

- ② サポート Shinz ; 心臓停止の後、血圧の安定、血液循環のサポートとして

Rhus-t. ; TBR トップ、卒中後の手足の不自由さに適合

Arn. ; 脳内出血、麻痺にも合う

Acon. ; 心臓に、TBR で 4 位。脳卒中再発の恐怖に

Lach.、Ham. ; 循環、血管のサポートに

※『バナジープロトコル』(ホメオパシー出版) pp.128~129 脳血管障害 (CVA) 参照

- ③ 前回粒にしたレメディイにマヤズムを加えてアルコールポーションに変更。

Syph. ; 今回のような大きな発作を繰り返さないように

Lach. +Crot-h. +Vip. +Naja ; 脳卒中後に最適、4種の蛇毒のコンビネーション

【3回目 2016/4/16】 QX-SCIO は、週1回に。

- ・3月6日 ベッドの横に立つ(発作から一か月後)
- ・3月8日 4時間離れた自宅近くの病院へ転院。
- ・14日~本格的リハビリ開始 杖を使い500メートル以上歩けるようになる。

- ・ 31日 日中のトイレは単独、付添なしで出来るようになる。
- ・ 指先に痺れ残るも、箸で食事が可能になる。
- ・ かすれて弱々しいしかった声にも張りが出てきた。
- ・ 病院の医師、看護師も驚きの回復。春になり少し暖かくなったこともあり、希望が出てきた。

随時①； MT) Aven +Sil. LM5 +Ign. LM7 +Gink-b. 6X +Equis. 6C + Chel. 6C

朝 ②； アルポ Syph. LM6 +Spig. 6C +Zinc. 12C

※Aven/オートムギ、Sil./二酸化珪素、Ign./イグナチア豆、Gink-b./銀杏の葉、Equis./トクサ、Chel./クサノオウ、Syph./ノゾース、Spig./セッコソウ、Zinc./亜鉛

*選択の根拠

- ① 905 右側
- ② 1025 動き—困難な一歩行時によるめく(足取り)(運動失調)
- ③ 1080 変質した感覚—ちくちく感—単一部分にまるで痺れて無感覚になったような(痺れのぴりぴり感)
- ④ 660 心臓血管—血液および血液循環—循環の低下(不十分)(蒼白を伴うなど)
- ⑤ 272 手指—関節(指節間)
- ⑥ 836 睡眠—不眠—不眠全般

順位・レメディ名	①	②	③	④	⑤	⑥	度数合計
1. Rhus.	2	4	3	3	3	3	18
2. Sil.	2	3	4	2	3	4	18
3. Puls.	1	2	3	4	3	4	17
4. Ign.	3	3	3	3	2	3	17
5. Sep.	1	2	3	3	4	4	17

※Rhus-tを含む、前回の随時②のサポートφ心臓がまだ残っているとのことから、以下を選択。

- ① MT)Aven. ; 脳、神経、不眠、全身衰弱、病後の回復に。ミネラル豊富。
Sil. ; TBR2位。身体の組織全体の働きを高めるミネラル。虚弱に。
Ign. ; 感情的というよりは、肉体的な意味でTBRでも上位。隠された感情があるかも。
Equis. ; Sil.やCal.が豊富。結合組織の強化。損傷修復に。
Chel. ; 肝臓、胆嚢に落とした抑圧した怒りに。右肩甲骨内側の痛みに。肝臓・胆嚢強化。
- ② Syph. ; 脳卒中の再発防止に。
Spig. ; 血管、心臓に。高血圧に合う。

【その後の経過】

- ・ Aven. のティンクチャーをとると、足の先から指の先まで**ピーンと神経が通る感覚**がした。「命の水」と呼んでいる！
- ・ 体に痛みもなく、日々出来ることが増える。直筆の手紙も何度かいただくほど。
- ・ 4月後半には外泊許可も下り、6月5日に退院。
- ・ MT) Hyper や、MT) Gink-bなどをベースにした処方現在も続けている。
- ・ 家事はもちろん、着物をブラウスに仕立て直したりとたっぷり贅沢な時間を過ごしている。

【まとめ】

- ・入院、通院しているので、薬(降圧剤)を服用しているが、医師もレメディーやフラワーエッセンスを使っても良いとのことでしたので、出来る限りとっていただいています。レメディーによる自己治癒力触発の他、意識を回復する以前からの遠隔 **QX-SCIO** なくしてはこの回復はなかったと思われる。気分の落ち込みなどには、フラワーエッセンスが非常に頼りになりました。
- ・搬送時の状況があまりよくなく、当初、医師からは回復は難しいとの話でしたが、破裂箇所の言語、記憶分野に障害も見られず、通常1か月後と言われるような食事を10日で口から摂り始めることも出来ました。1ヵ月後、約4時間離れた自宅近くの病院へ転院し、2ヶ月後には杖を使い病院の周りを歩けるまでとなり、弱々しかった声も以前と変わらない張りが戻りました。ただ、まだ以前と同様に動けるわけではないので、本人にとってはもどかしい所もあるようです。それでも、担当の医師、理学療法士からはその回復力に驚きの言葉をいただいています。
- ・その後再発、再入院もなく元気に生活されています。杖も持ってはいませんが、突くよりも持ち運ぶばかりです。

カテゴリー：[エネルギー医学 (SCIO)]